

てんだな
天棚

しもこもり や しんめいぐうしよゆう
真岡市下籠谷 神明宮所有



(撮影 上野訓宏)

あげて行うお祭りです。下籠谷の天棚は、全てケヤキの木（柱だけは柳の木）で造られており、唐破風（丸みを付けて造られた屋根の部分）の上下、柱にとっても細かい彫刻が施されています。江戸時代に造られたものですが、保存状態はとてもよいです。

天祭の時に使用する天棚です。天祭とは、農家の人々が五穀豊穰（米や麦などの穀物が豊かに実ること）、天下泰平（世の中が平和に治まること）、村内安全、風雨順調（気候がうまく移り変わること）を神様に願う行事です。下籠谷では、神明神宮の境内に組み立て式の上演舞台である天棚を組み立てて、若者を中心に村を



(撮影 上野訓宏)